

目次

第1章 状態方程式、熱力学の第1法則と第2法則 1

1.1	熱平衡状態	1
1.2	状態方程式	2
1.3	理想気体と絶対温度	3
1.4	仕事、準静的過程と V - P 図	4
1.5	熱と熱容量	8
1.6	熱力学の第1法則	9
1.7	第1法則の流体への応用	11
1.8	気体の自由膨張に関する Joule の実験	13
1.9	状態の断熱変化	15
1.10	熱力学の第2法則	17
1.11	Carnot サイクル	19
1.12	Carnot の定理	21
1.13	熱機関と冷凍庫	24
	演習問題	25

第2章 エントロピーと熱力学的関係式 29

2.1	Clausius の定理	29
2.2	エントロピー	34
2.3	エントロピーのいくつかの重要な性質	37
2.4	完全微分	40
2.5	気体のエントロピーと熱力学的関係式	42
2.6	Helmholtz の自由エネルギー	44
2.7	Gibbs の自由エネルギー	46
2.8	Maxwell の関係式	49
2.9	熱容量	54
2.10	二つの熱力学的不等式	58

2.11 热力学の第3法則	60
2.12 系と外界.....	62
2.13 Gibbs-Duhemの関係式.....	65
2.14 極値原理と热平衡状態.....	66
演習問題.....	69
第3章 統計力学とマクロな理論 73	
3.1 流体力学と基本発展方程式	73
3.2 流体力学と統計力学	78
3.3 热力学と統計力学.....	81
演習問題.....	82
第4章 統計集団と Liouville の定理 85	
4.1 古典力学と確率	85
4.2 Liouville の定理	91
4.3 Liouville 方程式	96
演習問題.....	98
第5章 統計的平衡と一様集団 103	
5.1 一様集団と統計的平衡	104
5.2 エネルギーに関する先驗的等確率の原理	106
5.3 エルゴード仮説	108
5.4 まとめ	110
演習問題.....	111
第6章 Gibbs集団 113	
6.1 ミクロカノニカル集団	113
6.2 カノニカル集団	114
6.3 グランドカノニカル集団	115
6.4 変数の相補性とゆらぎについての注釈	116
演習問題.....	117
第7章 古典的ミクロカノニカル集団 119	
7.1 微視的状態数と分布関数	119
7.2 微視的状態数の計算（自由粒子気体への適用）	122
7.3 エントロピー	126

7.4	自由粒子系のエントロピーと粒子非識別性	129
7.5	混合のエントロピー	132
7.6	Gibbsのパラドックス	135
7.7	μ 空間上の系の統計的エントロピー	137
7.8	熱力学第1法則の確率的解釈	140
7.9	ミクロカノニカル集団の難点	142
	演習問題	142
第8章 古典的カノニカル集団 145		
8.1	全系の熱平衡と部分系の熱平衡	145
8.2	部分系の確率分布について	148
8.3	カノニカル分布関数の導出	150
8.4	Γ 空間上の系の統計的エントロピー	153
8.5	カノニカル集団の熱力学ポテンシャル	156
8.6	自由粒子気体への適用	158
8.7	ゆらぎについて	161
8.8	カノニカル集団の難点	163
	演習問題	164
第9章 古典的グランドカノニカル集団 167		
9.1	粒子数平衡	167
9.2	グランドカノニカル分布関数の導出	169
9.3	グランドカノニカル集団の熱力学ポテンシャル	171
9.4	自由粒子気体への適用	173
9.5	粒子数のゆらぎの評価	174
	演習問題	177
第10章 Gibbs集団の熱力学等価性 179		
10.1	各特性関数間における変換関係	179
10.2	鞍部点法による状態密度の漸近評価	181
	演習問題	184
第11章 量子力学と確率 187		
11.1	量子力学における基本的要請	187
11.2	位置・運動量表示と Schrödinger 波動方程式	191
11.3	Schrödinger 描像と Heisenberg 描像	195

11.4 量子力学における系の状態	197
11.5 期待値と密度演算子	197
11.6 量子Liouville方程式	203
演習問題.....	205
第12章 量子統計力学の基礎 207	
12.1 置換群	207
12.2 奇置換と偶置換	212
12.3 識別不可能な古典粒子	217
12.4 量子統計の仮説・ボソンに対する対称状態	221
12.5 フェルミオンに対する反対称状態と Pauli の排他原理	223
12.6 ボソンとフェルミオン (続き). 量子統計とスピン	227
12.7 占有数表示	230
演習問題.....	233
第13章 量子的カノニカル集団 235	
13.1 密度演算子と量子論での集団平均	235
13.2 カノニカル密度演算子	236
13.3 量子分配関数	240
演習問題.....	247
第14章 量子的グランドカノニカル集団 249	
14.1 グランドカノニカル密度演算子と量子大分配関数	249
14.2 自由量子気体に対する大分配関数の計算	252
14.3 Bose 分布関数と Fermi 分布関数	257
演習問題.....	260
第15章 量子統計の古典的極限 263	
15.1 古典的極限	263
15.2 分配関数の古典的極限	264
演習問題.....	268
第16章 古典統計力学の適用可能性 271	
16.1 実験からの考察	271
16.2 極限での量子統計の近似 : Maxwell-Boltzmann 分布	274
演習問題.....	279

第17章 分配関数のクラスター展開と摂動展開 281

17.1 配置分配関数のクラスター展開	281
17.2 热力学的摂動論と分配関数の摂動展開	287
演習問題.....	291

第18章 金属の自由電子と Fermi 液体 295

18.1 金属中の伝導電子	295
18.2 自由電子と Fermi エネルギー	298
18.3 状態密度	304
18.4 縮退した電子の熱容量（定性的議論）	308
18.5 縮退した電子の熱容量（定量的計算）	310
18.6 独立電子近似と Fermi 液体モデル	316
18.7 Fermi 液体モデルの量子統計的導出	318
演習問題.....	319

第19章 静磁場中の自由電子 327

19.1 電磁場中での荷電粒子の運動	327
19.2 磁場中の電子気体	333
19.3 一様な磁場中の電子気体に対する熱力学的ポテンシャル	342
19.4 磁化と帶磁率	347
演習問題.....	350

第20章 Bose 気体と Bose-Einstein 凝縮 353

20.1 自由 Bose 気体	353
20.2 凝縮相にあるボソン	358
20.3 自由 Bose 気体の内部エネルギー	362
20.4 自由 Bose 気体の比熱	363
演習問題.....	366

第21章 第2量子化と運動方程式の方法 369

21.1 ボソンの生成・消滅演算子	369
21.2 ボソン系のオプザーバブル	373
21.3 フェルミオンの生成・消滅演算子	374
21.4 運動量（位置）空間における第2量子化	376
21.5 1体問題への還元	378

21.6 1体密度演算子と密度行列	381
21.7 エネルギー固有値問題	384
演習問題.....	387
付録A 本書で用いた記号一覧表	391
付録B 熱力学的諸量, 微視的状態数, 確率分布関数, 分配関数の関係	399
付録C 数学公式	401
C.1 Stirlingの公式	401
C.2 N 次元超球の体積と表面積	403
C.3 Heavisideの階段関数	405
C.4 デルタ関数	405
C.5 級数	406
C.6 ゼータ関数	407
C.7 ガンマ関数	407
C.8 積分	408
C.9 Jacobi変換	414
C.10 Laplace変換	415
C.11 演算子に対する数学公式	417
C.12 Poissonの和公式	418
C.13 行列と行列式	421
付録D Lagrangeの未定乗数法	425
付録E 鞍部点法	427
E.1 カノニカル分配関数とグランドカノニカル分配関数の関係	429
付録F Liouvilleの定理の証明	431
付録G 状態密度の導出	437
参考文献	441
索引	445